

平成28年度文化庁文化芸術振興費補助金
文化遺産を活かした地域活性化事業

丹波漆を世界へ

— Tamba Urushi for the world —

英訳冊子完成記念講習会

太古の昔から、日本人が使い続けてきた素材「漆」。「ウルシノキ」から漆液を採取する作業を「漆掻き」と言います。しかし現在、漆掻き職人は日本全国でもわずか60人ほどしかいません。

漆掻きの方法について、海外の方にも広く知っていただくため、地元、京都府福知山市夜久野町に伝わる「丹波漆」の漆掻きの1年を通しての作業を記録した英訳DVDの付属冊子を作成致しました。

今回、この冊子の解説を踏まえ、海外へ向けて、日本の文化・漆を発信し、活用していくにはどうしたらよいか、様々な視点でお話していただき、漆の魅力を体験できるワークショップを加えた会を企画致しました。どうぞこの機会に、あなたの知らなかった日本の漆を味わってみてください。



2017年 **3月20日** (月・祝)

12:30 ▶ 17:00 ワークショップ 受付開始 12:00 ※講演のみご参加の方は 13時30分より受付を開始致します

入場無料
Entrance free

※ワークショップのみ有料
3,000円(材料費込)

参加者には英訳冊子を
プレゼント!

講演1

「漆を英語で説明するには？」

北川 美穂 (工芸素材研究所主宰、京都府立大学共同研究員)



講演2

「売れる産物へ
— 農産物・工芸品の新たな可能性 —」

平野 真 (福知山公立大学地域経営学部教授)

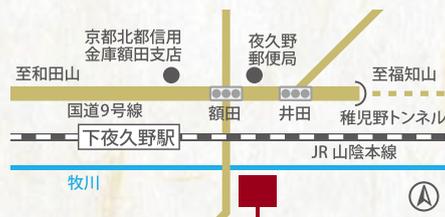


漆ワーク
ショップ

蒔絵一日体験 定員15名

作業① 12:30~13:30 作業② 16:00~17:00

- ・ 金粉でワンポイントの模様を描きます。
- ・ 参加料3,000円(材料費込)



会場: 夜久野ふれあいプラザ 研修室

京都府福知山市夜久野町額田19-2
JR下夜久野駅より徒歩10分

お問い合わせ

やくの木と漆の館 0773-38-9226

丹波漆を世界へ — Tamba Urushi for the world —

プログラム

- ▶12時00分 受付開始
- ▶12時30分 漆ワークショップ 作業①
- ▶13時30分 休憩 / 講演受付開始
- ▶14時00分 講演1 「漆を英語で説明するには？」
.....北川美穂
- ▶14時45分 休憩 (15分間)
- ▶15時00分 講演 2
「売れる産物へ
—農産物・工芸品の新たな可能性—」
.....平野 真
- ▶15時45分 休憩 (15分間)
- ▶16時00分 漆ワークショップ 作業②
- ▶17時00分 閉会

北川 美穂さんプロフィール

- 1963年 埼玉県生まれ。高校までを岐阜県で過ごす。
- 1987年 東京藝術大学工芸科漆芸専攻を卒業、大学院1年目修了後にロンドン大学 Goldsmiths College に1年間留学。欧米の日本文化の影響と、疑似漆技法ジャパニングのことを知る。
- 1990年 東京藝術大学大学院漆芸専攻修了後、埼玉県の吉備文化財修復所で仏像修復に携わる。
- 1999年 国立歴史民俗博物館、東京国立博物館勤務を経て、文化庁在外研修員としてロンドンの City and Guilds of London Art School の保存科の研究生に学び、2005年には Victoria & Albert Museum の家具保存課で輸出漆器とジャパニングの古典技法材料の研究を行う。
- 2007年 東京藝術大学大学院文化財保存学博士課程修了(文化財博士)。
- 2007~2008年 JICA 大エジプト博物館保存センタープロジェクト専門家としてカイロに滞在。
- 2011~2012年 東京国立博物館学芸研究部保存修復課勤務を経て、工芸素材研究所を主宰し活動開始。
- 2015年~ 京都府立大学大学院生命環境科学研究科共同研究員として、日本とブータン漆工、ジャパニング技法の素材であるラック【シェラック】を中心に、日本と世界各地で調査研究を行う。
- <http://kosoken.blogspot.jp/>
[https://www.facebook.com/ 工芸素材研究所 /](https://www.facebook.com/工芸素材研究所/)

平野 真さんプロフィール

- 早稲田大学理工学部応用物理学学科卒業、理学修士、博士(工学、電子工学専攻)、MBA(米国テンプル大学)、博士(学術、国際関係学専攻)。
- NTT 先端技術総合研究所、NTT エレクトロニクス、NEL America Inc.(米国駐在)、高知工科大学、芝浦工業大学を経て現在福知山公立大学に奉職。
- 2005年~2011年、高知工科大学で社会人の経営教育に従事する傍ら、県庁と連携して地域の新規事業育成活動に従事、各種アドバイザーとしても活動。
- 半導体の研究者から、社内ベンチャー事業を経て、ビジネスそして社会科学の分野にシフト。
- 専門分野: 国際経営学、地域活性化論、イノベーション論、起業論、技術経営論。
- 一方で本業の傍ら、若い頃から現代アートの作家活動、絵本・イラストの制作などを行っている。アーティストや音楽家、演劇人などに友人がたくさんいるため、地域活性化の活動でもこうした多くの人脈がある。ビジネスにおいても、どんな活動においても、結局は人のつながりこそが最大の宝であると感じ、多くの方々と知り合い、協力しながら、地域の発展と世界への寄与を目指している。